

ひるげよう

見守り

ネットワーク

見守りネットワーク事業の足跡

高島市で本格的に見守りネットワーク活動が始まった、この2年間を振り返った記録です。



2010(H22)

社協職員研修「見守りネットワークづくり勉強会①」を開催。

・見守りネットワークの基本理解、県内他市町の先進事例から学ぶ。

03.08

高島市地域福祉推進計画完成

・3月理事会で計画承認。重点項目に見守りネットワークづくりの推進（推進目標1）、住民と専門職が連携した地域ケアのしくみづくり（推進目標3）が明記される。

03.26

社協職員研修「見守りネットワークづくり勉強会②」を開催。

・市内の事例から見守りネットワークを考えるケース検討。

03.30

福祉推進委員会の手引き（平成22年度版）を発行

・見守りネットワークを福祉推進委員会の活動項目として明記。

05.10

第1回福祉推進委員長研修スタート。（7/5～7/22）

・「福祉推進委員会の手引き」を元に見守りネットワークの重要性を学ぶ。

07.05

地域の新たな支えあい基金に関する打合せ会議（事前協議）

・中央共同募金会担当者と基金助成に関する初打合せ会議を行う。

08.27

第2回福祉推進委員長研修スタート。（9/10～9/17）

・高島市地域包括支援センターと協働して「認知症の方の見守り」をテーマに開催する。

09.10

第1回地域の新たな支えあい基金モデル事業打合せ会議

・中央共同募金会、全国社会福祉協議会担当者と基金事業のモデル社協として、見守りネットワークを推進する方向性を協議する。

12.03

2011(H23)

平成22年度第2回高島市福祉のまちづくり推進委員会

・見守りネットワーク事業の推進に関するグループディスカッション（意見交換）をおこなう。

02.09

第2回地域の新たな支えあい基金モデル事業打合せ会議

・研究者、中央共同募金会、全国社会福祉協議会、滋賀県社協と、見守りネットワーク事業に関する具体的な進め方の協議を行う。





2011(H23)

見守りネットワーク活動推進会議（準備会）の開催。

・見守りネットワーク事業の概要・考え方について説明し、委員から意見を頂戴する。

03.15

見守りネットワーク活動推進会議設置要綱、見守りネットワーク活動助成金交付要綱が理事会で承認される。

04.28

社協広報誌「しふくのふくし」37号にて見守りネットワーク事業について告知。



05.01

住民福祉こんだん会開催。（6月6日まで概ね小学校区17地区）

・見守りネットワークに関する説明をおこない、区長・自治会長、民生委員児童委員、福祉推進委員長の意向をアンケートでお伺いする。

ボランティアこんだん会開催（6月3日まで6地域）

・見守りネットワークに関する説明をおこない、見守りネットワーク活動助成金について説明。

05.23

05.24

第1回見守りネットワーク活動推進会議の開催。

・住民福祉こんだん会での提案要旨の説明、参加者からのご意見、意向調査アンケート結果の報告を行う。

06.06

住民福祉こんだん会終了。

・この段階で概ね34の区・自治会から「取り組みたい」という意向があることが明らかになる。

06.10

社協職員研修

・神戸学院大学の藤井教授の研究室を訪問し、見守りネットワークについて、ご指導していただく。

06.27

安曇川馬場区にて第1回見守り会議開催。

07.08

朽木古川区にて第1回見守り会議開催。

07.11

朽木野尻区にて第1回見守り会議開催。

07.15

安曇川藤江区にて第1回見守り会議開催。

朽木麻生区にて第1回見守り会議開催。

07.25

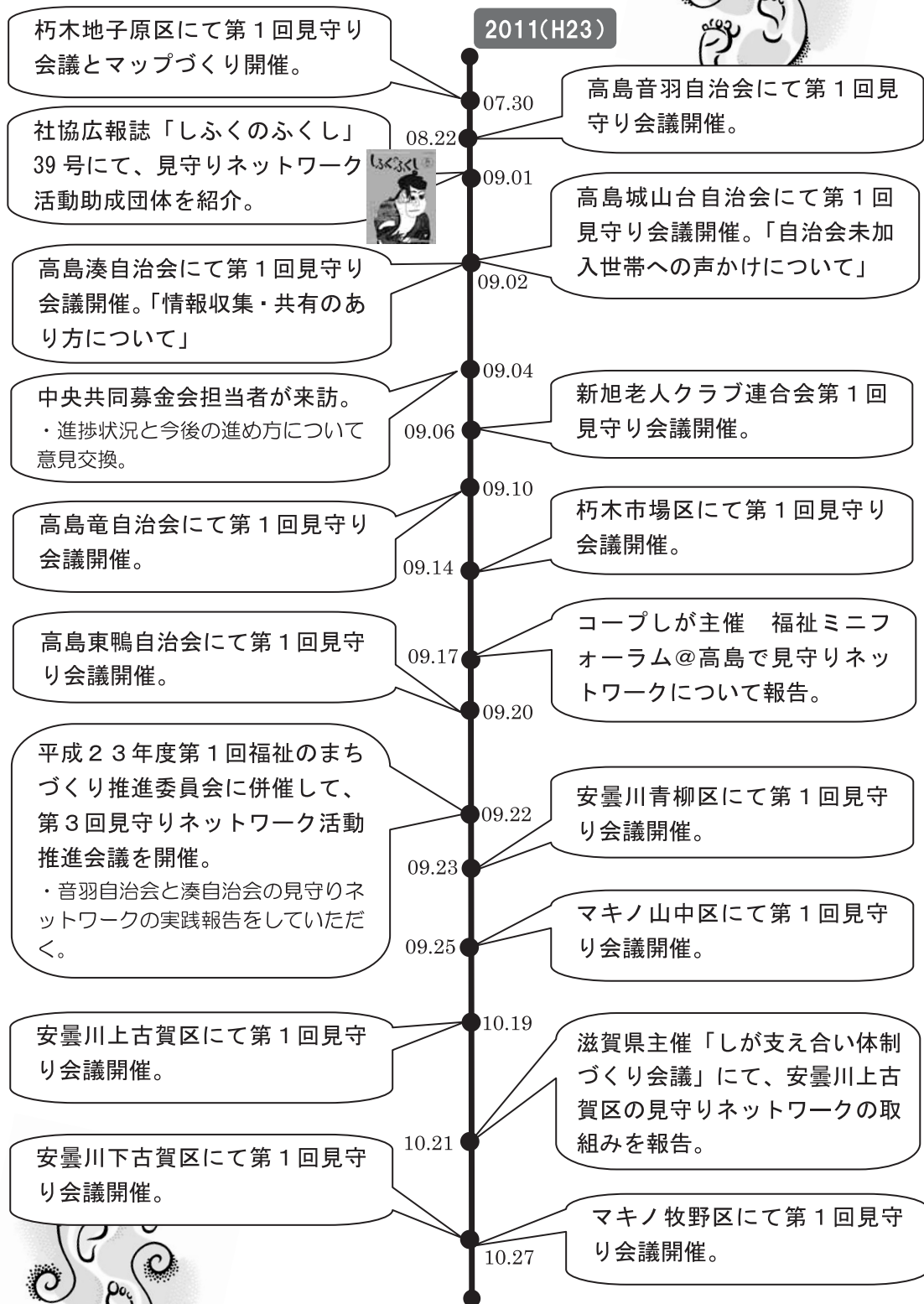
第2回見守りネットワーク活動推進会議の開催。

・見守りネットワーク活動助成金を申請した24区・自治会と2団体の申請内容の審査を行う。



第2回見守りネットワーク活動推進会議







2011(H23)

「たかしま見守り通信」創刊号を発行。

・特集：音羽自治会のひまわり訪問。

10.31

高島畑自治会にて第1回見守り会議開催。

11.04

高島宮野自治会にて第1回見守り会議開催。

11.05

「たかしま見守り通信」第2号を発行。

・特集：上古賀区 今日ハ、お元気ですか！活動。

11.30

第4回見守りネットワーク活動推進会議を開催。

・下古賀区と宮野自治会の見守りネットワークの実践報告をしていただく。事業評価について、見守りフォーラムの開催要綱（案）について。

12.02

朽木老人クラブ連合会第1回見守り会議開催。

安曇川竹の里区にて第1回見守り会議開催。

12.11

マキノ駅西自治会にて第1回見守り会議開催。

12.18

マキノ蛭口区にて第1回見守り会議開催。

「たかしま見守り通信」第3号を発行。

・特集：マキノ駅西自治会の活動

12.23

安曇川田中ニュータウン区にて第1回見守り会議開催。

12.28

2012(H24)

BBCびわ湖放送テレビ「笑顔がつなぐ！地域のチカラ」（20：55～21：00）にて、音羽自治会の見守りネットワーク活動が紹介される。

01.30

「たかしま見守り通信」第4号を発行。

・特集：市場区 見守り隊の活動。

01.31

第5回見守りネットワーク活動推進会議を開催。

・平成24年度に向けた見守りネットワーク事業の取組み方針について、見守りハンドブックの誌面内容について、助けてサインを見逃さない地域づくり事業について。

02.01

社協広報誌「しふくのふくし」42号にて見守りフォーラム開催特集を巻頭で掲載。



02.16

※本誌発行時点までの関連事項のみ掲載しています。
※見守り会議は、紙数の都合上、助成を受けた区・自治会、団体の第1回開催分のみ掲載しています。

地域で誰もが、安心・安全にいつまでも暮らし続けるために 行政、社協、関係機関・団体等が 見守りネットワークを応援しています！

民生委員児童委員、福祉団体、生協、ボランティア、行政、警察、社協等が参加して「見守りネットワーク活動推進会議」を設置し、地域の見守りネットワーク活動を全市に広げ、誰もが安心、安全に暮らせる社会づくりを進める話し合いをおこなっています。



第4回見守りネットワーク活動推進会議の様子
(平成23年12月)

見守りネットワーク活動推進会議 会議開催記録

回/月日	主な協議内容	参加人数
準備会 H23. 3. 15 (火)	見守りネットワーク事業の推進について 今後の進め方について	19名
第1回 H23. 6. 10 (金)	設置要綱及び委嘱状について 住民福祉懇談会での見守りネットワーク事業の提案内容について 住民福祉懇談会における意向調査等の結果及び意見について 今後の支援方針について	23名
第2回 H23. 7. 25 (月)	見守りネットワーク活動助成金申請について 助成金申請の審査 今後のスケジュールについて	20名
第3回 H23. 7. 25 (月)	見守りネットワーク活動の推進状況について ・高島音羽自治会、湊自治会の実践報告 ※高島市福祉のまちづくり推進委員会と併催	35名
第4回 H23. 12. 2 (金)	見守りネットワーク活動の取組みについて ・安曇川下古賀区、高島宮野自治会の実践報告 見守りネットワーク活動の事業評価について 見守りフォーラムの開催について	21名
第5回 H24. 2. 16 (木)	平成24年度の見守りネットワーク活動の進め方について 「助けてサインを見逃さない地域づくり事業」について 見守りハンドブックの内容について	25名

高島市見守りネットワーク活動推進会議 委員名簿 (順不同 敬称略 H23年度)

氏 名	所 属
福祉のまちづくり推進委員会	
小川 賀世子	高島市福祉のまちづくり推進委員会 委員長職務代理者
山本 昇子	高島市災害ボランティア活動連絡協議会 運営委員会 副委員長
川島 和久	湖西地域障害者生活支援センターわになろう 相談員
谷 仙一郎	N P O法人元気な仲間 代表理事
上田 弘美	高島市ボランティア・福祉学習センター 運営委員会 運営委員
一圓 守造	高島市民生委員児童委員協議会連合会 会長
行政関係	
山口 一成	高島市 健康福祉部 社会福祉課 主監
山川 珠美	高島市 南部地域包括支援センター 社会福祉士
古谷 靖子	高島市 北部地域包括支援センター 主任保健師
田谷 伸雄	高島市 健康福祉部 障害福祉課 主監
西村 陽子	高島市 健康福祉部 健康推進課 主任保健師
関係団体の代表者	
早藤 ミサオ	赤十字奉仕団高島地区委員会 委員長
安永 卓一	高島市老人クラブ連合会 会長
森岡 淳子	生活協同組合コープしが 組織部 福祉推進フロア サブマネージャー
県社協	
山崎 智子	滋賀県社会福祉協議会 地域福祉担当 主任主事
市社協	
古川 進	高島市社会福祉協議会 副会長
指導・助言	
藤井 博志	高島市福祉のまちづくり推進委員会 委員長 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 教授

社会福祉法人高島市社会福祉協議会見守りネットワーク活動推進会議設置要綱

(設置)

第1条 高島市内の福祉推進委員会や各種団体の見守りネットワーク活動を支援するため、社会福祉法人高島市社会福祉協議会（以下、「本会」という。）に見守りネットワーク活動推進会議（以下、「推進会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 推進会議は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 見守りネットワークの総合的な活動の企画及び評価。
- (2) 見守りネットワーク活動に関する助成の審査及び実態調査。
- (3) その他、見守りネットワーク活動の推進に必要な事項。

(組織)

第3条 推進会議の委員は、社会福祉活動を行う者、社会福祉事業を経営する者、行政関係者、学識経験者等の中から高島市社会福祉協議会会長（以下「会長」という）が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日から平成25年3月31日までとする。

2 欠員によって就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、本会地域支援課において処理する。

(委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は本会会長が別に定める。

(附則)

この要綱は、平成23年4月28日から施行する。

社会福祉法人高島市社会福祉協議会見守りネットワーク活動助成金交付要綱

(目的)

第1条 この要綱は、高島市内の要援護者の孤立を防ぐ見守り・支えあい活動を推進する団体等に対し、社会福祉法人高島市社会福祉協議会（以下、「本会」という。）が交付する助成金に関し、本会助成金交付規則に定めのない具体的な事項を定めることにより、助成金の交付の適正化を図ることを目的とする。

(助成対象団体)

第2条 助成対象とする団体は、区・自治会に設置される福祉推進委員会及び高島市内で活動するボランティアグループ、NPO法人、福祉団体等（以下、「各種団体」という。）とする。

(助成対象事業)

第3条 助成対象とする活動は、福祉推進委員会が区長・自治会長、民生委員児童委員と協力して取り組む以下の活動とする。

- (1) 住民を主体とした、要援護者の福祉課題の早期発見ができる仕組みづくり。
- (2) 住民を対象とした、見守りに関する理解促進のための懇談会、研修会等の開催。
- (3) その他、前各号を達成するために必要な活動。

2 各種団体においては、以下の活動を助成対象とする。

- (1) 各種団体が日常的に支援をおこなう要援護者の孤立防止につながるつどいの場づくり。
- (2) 福祉推進委員会や公的機関等と連携した身近な相談窓口の設置。
- (3) その他、見守りネットワーク活動の質の向上を図るために必要な先駆的、開拓的な活動。

(助成金額)

第4条 助成金額は、総活動費の10分の10とし、上限を5万円とする。

(助成対象期間)

第5条 助成対象期間は、この要綱の施行日から平成25年3月31日までとする。

(助成の審査及び実態調査)

第6条 本会団体等交付規則第5条第1項に規定する申請にかかる書類の審査及び実態調査は、見守りネットワーク活動推進会議が行う。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は本会会長が別に定める。

(附則)

この要綱は、平成23年4月28日から施行する。

応援しています！ 見守りネットワーク

生活協同組合コープしが 福祉ネットワークセンター

森岡 淳子さん(見守りネットワーク活動推進会議委員)

コープしがの願い それは、人がつながること…

「私は昔から不便な集落で住んでいます。現在は一人になりました。昨年末に生協に加入しました。老人になって本当に生協の有り難みに心からのお礼が云いたくて一筆書かせていただきました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。雪の中、今日はご苦勞様です。」高島在住の組合員さんから届いたお便り（一部抜粋）

その昔、街には、魚屋さんや八百屋さん、酒屋さんが身近にありました。魚屋さん、八百屋さん・・・「さん」をつけると何故かしっくりきます。コープしがも地域の方々からは「生協さん」「コープさん」と呼ばれることがあります。時代と共に地域の様子が変わってきました。24時間営業のお店がある地域、一方で買物などが不便になりつつある、高齢化が進む山間部の集落・・・全く異なる両者ですが、どちらも人のつながりが必要とされています。

“さん付け”で呼んでいただけるのも、どこか親しみを持って身近に感じていただいているからなのかもしれません。「ささえあいサポート」という組合員同士の助け合いの活動では、社協さん（あ、社協も“さん付け”ですね！）やNPOなどと連携して、掃除や草取りなど直接的なサポート活動も展開しています。そこではお互いさまの気持ちで人がつながる場面があります。

コープしがは事業と活動を通じて、様々なくらしの困りごとを人がつながることで少しでも良くしていきたいと考えています。より良い地域づくりのために、見守り、見守られ、人がつながるお手伝いをしていきたい・・・それがコープしがの願いです。

【音羽自治会 DATA】

戸数:44戸 人口:134人

高齢化率34% ふれあいサロン:年4回

【取り組みの概要】

毎月1回、見守りが必要な高齢者宅を訪問し、その後、情報共有のための見守り会議を開催。サロン開催月には、案内チラシの配布も兼ねて、全戸を訪問されています。



音 羽地区は、旧高島町の中心部から、少し山手に向かった所に位置する自治会です。旧来からあるこじんまりとした集落で、「ふれあい散歩路」という小路が、集落を囲むように作られています。

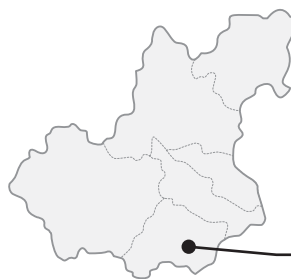
おまたせしました！
見守りネットワークの取り組みをお伝えする新聞、できました！
創刊号は、音羽自治会（高島）のひまわり訪問活動をご紹介します。

たかしま見守り通信



創刊号

発行
社会福祉法人
高島市社会福祉協議会
電話0740(36)8220



音羽自治会

「もしもの時は頼むで。また来てや！」 の聲がうれしかった。



自治会長の山口さん



福祉推進委員長の白崎さん



民生委員の村谷さん

福祉の三役さんにインタビュー

ひまわり活動という名称は？
ひまわりはいつも太陽に向かって
いる元気な明るい花ですし、この
活動も夏からスタートしたので…。
住民さんが太陽かな？ 私たちが
太陽かな？（笑）
裏面につづく

見守り活動に取り組もうと思われた
きっかけは？
高齢化が進んだことや、若い人が
街に行ってしまう、二世帯同居すら
減ってきたことで、自分たちの将来
が不安になっていたところに、この
活動を紹介され「やってみよう」と
思いました。自分たちで支えあって
いくしかないですからね。



BBC びわ湖放送の担当者との打ち合せの様子

トピックス！

音羽のひまわり訪問活動の様子が

BBCびわ湖放送で

放映されます！お見逃しなく！！

※放送日時は未定ですが、決まり次第、
高島市社会福祉協議会のホームページ
にてお知らせいたします。

<http://www.takashima-shakyo.or.jp>

自分たちの ためにも レールを 敷きたい…。



住民の方にはどのように伝えられ
ましたか？

●チラシを作成して、全戸に説明し
て歩きました。

反応はいかがでしたか？

●皆さん快く活動を受け入れて
くださいました。特に一人暮らし
の方には喜ばれました。「お世話に
なります」「もしもの時は頼むで」「ま
た来てや」って。

どんな活動をされているのですか？

●区長、副区長、民生委員、福祉推
進委員長の4人で活動しています。

音羽ではサロンの案内を高齢
者だけでなく、全世帯に直接お会
いして配っています。サロンは毎
月実施していませんので、実施し
ない月は、高齢者宅を訪問してい

ます。そのあと見守り会議で情報
交換をしています。

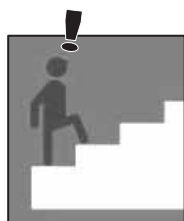
訪問した時は、具体的にどんなこと
をされているのですか？

●お話し相手です。世間話が主です
が、たまには愚痴だったり困りごと
だったり。「上がって」と言われた
ら、仏さんに参らせてもらったりも
しています。

訪問活動で気づかれたことは？

●70代の元気な人でも人と話す機
会がありませんことや、サロンに
行きたくても、会議所の石段
が上れないので、あきらめて
いる人がいる

ことがわかりま
した。スロープ
にできればいい
んですけど…。



活動を始めて何が変わりましたか？

●地区の皆さんと親しくなりまし
た。元々まとまりのある仲のいい地
区なのでお互い良く知っていました
が、もう一歩踏み込んで話が出来

るようになりました。

ひまわり訪問活動は続けますか？

●もちろん続けます。来年には区
長さんが交代されますが、自分た
ちのためにもレールを敷きた
いと思っていますので、次の
人にしっかりとつないでいき
たいと思っています。

「見守り活動を始めるにあたって、集落内で配布されたチラシ

音羽区民の皆様へ

平成23年9月21日

『ひまわり訪問』活動のご案内とご理解について

区自治会、民生委員、福祉推進委員

毎日暑い日が続きますが、皆様にはお変わりございませんか？

この度、新しく見守りネットワークの取り組みを進めたく活動にあたっての皆様のご
理解とご意向をお尋ねしたくご案内申し上げます。

☆新しく『ひまわり訪問』で活動いたします。

この度、自治会2名、民生委員、福祉推進委員、の4名が中心
となって『ひまわり訪問』をさせていただきます。

主に高齢者の方や一人暮らしの方を対象に、住民みんなが声を掛け
合ふことのできる村づくりをめざして、私たちも活動できれば
と考えています。

毎月1回程度サロンのチラシ配りや、元気なお話を伺いするために訪問させていただき
たいと思っています。

より詳しく、皆様のご意向をお伺いしたくご案内させていただきました。ご理解頂きますよう
お願い致します。



自治会長 山口 聖佑
自治会副 村谷 弘司
民生委員 村谷 芳子
福祉委員 白崎 和枝



見守りネットワーク事業は、
社会福祉法人中央共同募金会
「地域の新たな支えあい基金」の
助成を受けて推進しています。



たかしま見守り通信

第2号
上古賀区

発行
社会福祉法人
高島市社会福祉協議会
電話0740(36)8220



上古賀区 声かけ運動と「命のバトン」で 助けられ上手を増やそう！

今日ハ、お元気ですか！活動

上古賀区の取り組み「今日ハ、お元気ですか！活動」は、シンプルで分かりやすい点が特徴。



見守り会議の様子

見守りが必要と思われる方々へ、

日常的に「今日ハ、お元気ですか！」

と声をかける。声をかけられた方は

「ハイ！」と元氣よく答える。こ

ういった声かけ運動を励行しまし

ようという文書が、区長名で各戸に

配布され、活動がスタート。

加えて、市役所からの広報誌等を配

る担当の方々にも、「必ず声をかけな

がら配って下さい」とお願いする等、

こまやかな配慮も徹底されています。

かかわる人の多さ

では、この取り組みを推進しているのは、どういったメンバーなのかというところ……

◆区4役および区長補佐

【上古賀区 DATA】

戸数:115戸 人口:414人
高齢化率35%
ふれあいサロン:年10回

【取り組みの概要】

- ・声かけ運動 ・見守り訪問(随時)
- ・見守り会議(概ね月に1回)
- ・見守り対象者への命のバトン設置



安曇川地域の西端に位置する上古賀区。のどかな風景がひろがる。

- ◆組長、副組長、区連絡委員
- ◆防災リーダー
- ◆民生委員児童委員
- ◆福祉推進委員長、福祉推進委員
- ◆老人会 等々

総勢約30名の方々が、関わっていることとなります。(ちなみに上古賀区の世帯数は115戸で、見守りの対象者は約40名)

もちろん、活動は声かけ運動だけではなく、メンバーによる見守り訪問や見守り会議も実施されており、住民主体の「縦に横につながる」見守りネットワークづくりが、はじまったといえます。

命のバトンを設置

「命のバトン」は、一般的には「救急医療情報キット」と呼ばれるもので、バトンのような筒状の容器の中に、血液型や、かかりつけ医等の情報が書かれたシートを入れ、冷蔵庫に保管しておく、というものです。

万が一の時、救急隊がかけつけ、素早くその人の情報を知ることができ、高齢者の単身世帯の増加にともない、その有用性が注目されています。

福祉推進委員長に聞く

上古賀でも「命のバトン」を設置することにした理由を、福祉推進委員長の小川賀世子さんにお聞きしました。

「救急医療情報キットとして役立てていただくことはもちろんですが、『助けられ上手』という考え方を広めたい、という目的もありました。」
「今回は、見守りが必要と思われる方々にお配りしましたが、ゆくゆくは全戸に『命のバトン』を設置したいと考えています。集落全体の意識が高まって、お互いさまの精神で支

え合うようになれば、と願っています。」

難しいことは続かない

「この見守りの取り組みを長く続けていくには、活動者が世代交代しても受け継がれていくよう、わかりやすく、とつきやすいものにしておかないと」と、最後に小川さんは今後の抱負を語って下さいました。

―計画を立て、対象者を選定して、といった一連のステップは必要ですが、あまりそういったことに縛られすぎないようにすることも、活動を進めていくコツかもしれませんね。



命のバトン(救急医療情報キット)
情報シートを入れる容器(バトン)のほか、玄関と冷蔵庫の扉に貼るシールがセットになっている。

応援しています！ 見守りネットワーク

Vol.1

高島市役所 健康福祉部健康推進課
主任保健師 西村 陽子さん
(見守りネットワーク活動推進会議委員)



住民のみなさんが主体的に進める見守りは、たとえば、公的なサービスによる見守りが困難な場合には、地域のみなさんにとって非常に心強い取り組みになると思います。

初めは、一人暮らし高齢者や高齢者世帯を対象とすることが多いと思いますが、子どもさんや障がいのある方等へも見守りを広げていただけると、誰もが安心して暮らせる地域づくりへの、大きな推進力になってきます。市保健師の力も、人的な社会資源として活用していただき、一緒に地域づくりができればと思います。

見守りネットワーク事業は
社会福祉法人中央共同募金会
「地域の新たな支えあい基金」の
助成を受けて推進しています。



こらぼん



自治会設立のきっかけとなった「マキノぬくもり福祉プラン」

今、なぜ自治会ができたのでしょうか？そのきっかけになったのは、平成二十二年三月に策定した「マキノぬくもり福祉プラン（マキノ住民福祉活動計画）」です。また、この地域に住む独居高齢者が火事で亡くなった

自治会（町内会）組織の形骸化や住民の加入率低下が全国的な傾向にある中、平成二十三年四月三十日、マキノ地域で三十一番目の自治組織として「マキノ駅西自治会」は誕生しました。

マキノ駅西自治会

住民の絆づくりで、安心安全に暮らせる地域にしよう！

【マキノ駅西自治会 DATA】

(平成23年12月25日現在)

平成23年4月30日設立

自治会員数:38戸 人口:59人

高齢化率:28.8%

(永住が別荘に関わらず、自治会に入会できる)

【見守り活動の名称と目的】

【名称】地域の絆(きずな)育成活動

【目的】地域住民の絆をつくり、安全で安心に暮らせるコミュニティをめざす。

【メンバー】自治会役員6名

マキノ駅からマキノ駅西自治会エリアを望む



マキノ駅の西側に位置する新興住宅地。奥は約30年前に、手前は約10年前に開発された。

というショッキングな出来事や、東日本大震災も自治会設立に向けての大きな後押しとなったそうです。
この町が好き！だから絆づくり
この地域に住む住民は、マキノが気に入って自己決定で移住してきた人ばかり。(マキノ大好き！という

共通項がありながら、つながりの無い気楽さを楽しんでいたのも事実。でも、災害時や暮らしの突発事態に頼れるのはやはりご近所！大好きな町で安全安心に暮し続けるためにはまずはご近所でつながるうと、見守り活動に手上げされました。

見守り会議の様子



たかしま見守り通信

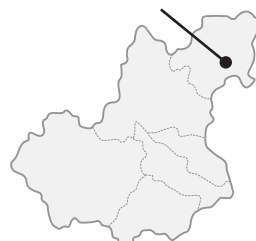


第3号
マキノ駅西
自治会

発行
社会福祉法人
高島市社会福祉協議会
電話0740(36)8220



マキノ駅西自治会



自治会長は語る

自治会長 平松弘三

二〇一一年の漢字が先日発表されました。「絆」です。



東日本大震災で全てを飲み込み流し去った大津波でも、ビクとしなかったのは人と人の絆だったと思います。

あれ程の状況でも、パニックや略奪や暴動とは無縁で、秩序と人間としての暖かさを失わずに助け合う東北の人々が、世界中の人々の賞賛を浴びたのは記憶に新しいことです。

しかし、都会を中心とした多くの日本の都市では、その絆が失われつつあります。

高島市をみると、旧集落といわれる地域での絆は健在ですが、我々のように駅前の新興住宅地へ移住してきた人々の絆は、危ういものがあります。新興住宅地といっても、奥のエリアは開発されて既に三十年以上が経過しており、高齢化は旧集落に負けないくらい進んでいます。高齢者の一人暮らしも増えており、こんな状況で、あのような大震災に

遭遇したら、東北の人々のような行動が取れるでしょうか？ はなはだ疑問です。

挨拶で地域住民の絆を取り戻す

二〇一一年四月三十日にマキノ町西自治会が発足しました。その目的の第一は地域住民の「絆」を取り戻すことにあります。まず実践している行動は挨拶です。徹底して挨拶を交わすこと。私は運転中の車を止めて窓を開けて挨拶するようにしています。

半年で自治会員数が六割増しに

そうした行動を自治会役員それぞれが実践した結果、発足時二十三だった自治会員数が年末には三十八とほぼ6割増しになりました。その内、一人暮らしの方がほぼ半数を占め、高齢者世帯も多いので、見守り活動は自治会の重要な活動の一つになっています。

自分のできることを実践する

住民一人ひとりが自分のできることを少しずつ実践することで地域の絆を強固なものにしたいと思います。始まったばかりの見守り活動ですが、地道に絶える事のない活動にしたいと思っています。

応援しています！ 見守りネットワーク Vol.2

NPO 法人元気な仲間
代表理事 谷 仙一郎さん
(見守りネットワーク活動推進会議委員)



かつて、私たちの周りには、近隣同士の温かいふれあいや助け合いが自然にありました。しかし、社会構造が大きく変わり、便利な世の中になってくるに従い、地域のつながりは薄れてきています。高齢や障がいがあるなど、生活に不便を感じながらも、地域で生活し続けるためには、地域のみなさんの見守りが必要となります。見守りから、新しいつながりをつくり、誰もが安心して暮らせる地域を一緒につくっていきましょう。

見守りネットワーク事業は
社会福祉法人中央共同募金会
「地域の新たな支えあい基金」の
助成を受けて推進しています。



こらぼん

たかしま見守り通信



第4号
市場区

発行
社会福祉法人
高島市社会福祉協議会
電話0740(36)8220



市場区



市場区見守り隊

区長さん、民生委員さん、老人クラブに
商店、駐在さんも…みんな見守り隊員！

活動その3

女子会も開催？

活動その1

見守りマップの作成

見守り隊のメンバーで、市区の地図を広げ、一人暮らし高齢者や高齢者世帯を中心に印をつけ、マップを作成。



活動その2

見守り訪問活動

「おかわりないですか？お元気ですか？」と、見守り訪問、声かけを行なっている見守り隊。



「いつもおつきんな。元気やで。」の言葉のあとに続くのは、健康の話から昔の話まで、盛りだくさん。やはり、みなさん、会話を楽しみにされているんですね。

まちなかの縁側である丸八百貨店には、午後2時頃になると、あちらこちらから自転車やシルバークーラーなど、お年寄りの皆さんが大集結。その大半が女性で、そこはまさに女子会といった雰囲気。

ここでは、なにげない日常の話から最近の話題まで、たくさん情報が飛び交うそうです。

「今日は、あの人どうしたんや？」

「今日は〇〇に行っているで。」



【市場区 DATA】

戸数：168戸 人口：492人 高齢化率：30%
ふれあいサロン：年4回

【取り組みの概要】

- 声かけ運動、見守り訪問（随時）
- 見守り会議（概ね2ヵ月に1回）
- さまざまな社会資源との連携強化

「ほう、そうか。」
市場区の皆さんの憩いの場所は、お年寄り同士の見守りの場にも、なっているようですね。

活動その4

横のつながりを強化!

民生委員さんの声

民生委員も訪問活動はしていますが、民生委員だけでは、全ての方を見守ることは困難です。やはり常日頃からのお付き合いをしているご近所の方の協力や、支援が大切になってきます。

今までは気にならなかったことに気づいて、地域全体をみんなで支えあえるようなきつかけ作りになればいいと思います。あたたかい気持ち、支え合う気持ち、その輪がひろがっていきますように…



ガソリンスタンドの方の声

冬は灯油の配達で地域を回りますが、「最近灯油の配達依頼がない」といった、ちよつとした気づきは今までからありました。



今後は、小さな気づきもそのままにしておかず、地域の見守り活動と連携していきたいと思っています。

生活支援ボランティア「でんでん虫」の声



私たち生活支援ボランティアは、日常生活におけるちよつとしたお手伝いをさせていただいています。この見守り活動を通して、お手伝いを必要とされている方と、でんでん虫とが、うまくつながっていったらと思います。

老人クラブ(寿楽会)の声

おおよそ一週間に一度、見守り訪問をしています。最近ではお互いに慣れてきて親しく話すようになりました。これからも継続していきたいと思っています。

駐在さんの声

駐在所にとつても、この見守り活動は大切だと考えています。地域の方が安心して暮らしていけるよう、一緒に取り組みたいと思っています。



応援しています！
見守りネットワーク Vol.3

湖西地域障害者生活支援センターわになろう

川島 和久さん(見守りネットワーク活動推進会議委員)



人と人とのつながりは、私たちが生活をしていく上でとても大切な要素です。見守り活動はその「つながり」を作る初めの一歩であり、私たち専門職とは違う住民目線での見守りが、地域のみなさんにとっては心地よく、安心して暮らせるまちづくりへの原動力につながっていくと思います。

この見守りの活動が、高齢者だけでなく、障がいのある人や子育て家庭、その他たくさんの方の家庭に広がっていくと、昔のようにさまざまな人が近所で話している姿や、子どもたちが遊んでいる声が聞こえてくる、また近所の方が気にかけてくれている「あたたかい」地域になっていくことと思います。

見守りネットワーク事業は
社会福祉法人中央共同募金会
「地域の新たな支えあい基金」
の助成を受けて推進しています。



見守りハンドブック

― 地域が変わる たかしまが変わる！ ―

発行年月日

平成二十四年三月一日

発行

社会福祉法人 高島市社会福祉協議会
(滋賀県高島市勝野二一五番地)

編集・デザイン

社会福祉法人 高島市社会福祉協議会

題字

高橋 渡 (リバーサイド区福祉推進委員長)

助成

社会福祉法人 中央共同募金会
「地域の新たな支えあい基金」



見守りネットワーク活動は、社会福祉法人中央共同募金会
「地域の新たな支えあい基金」の助成を受けて推進しています。
本冊子の印刷・発行も同助成金を財源としています。

